

●令和6年度東京都予算編成に係る要望

小池百合子都知事は就任以来、業界団体との次年度予算に係る意見交換を行っています。今年度は11月17日（金）16時30分から、都庁第一本庁舎42階北側大会議室において、関会長、塚本専務、山口参事3人で知事に対し、令和6年度東京都予算編成に係る要望書を提出しました。要望内容等は以下のとおりです。

【島しょ漁業の現状と課題】

- ・ 昨今の気候変動がもたらす、漁獲水産物の変化や減少など、今後も水産資源への影響が懸念
- ・ 売り手市場の雇用環境等を背景に、漁業者や漁協における厳しい人材確保・育成の状況
- ・ 電気料金の高騰による冷蔵庫等のランニングコストの高止まりなど、課題が山積み

【要望事項】 * 印は口頭要望・印は具体的な取組

- ① 水産資源の持続的な利用
 - * 資源管理の基礎となる評価精度の向上を図るため、漁船を活用した操業データ収集システムの充実、調査・研究体制の強化
 - * 磯根資源の生息の場である、藻場を早期に回復する技術開発
- ② 漁業人材の不足への適応
 - * 系統団体と連携して人が集まらない要因を分析し、人材確保・育成に係る地道で効果的な取組の実施
 - * 漁協職員のスキルアップやデジタル技術の導入など、業務効率化への支援と事業実施に係る補助率アップ
- ③ 島しょ農林水産総合センター（八丈事業所水産庁舎建替ほか）及び栽培漁業センターの機能強化
- ④ 東京産水産物の販路の多角化と付加価値化
 - ・ 海外販路開拓、漁協女性部等が取り組む水産物加工などの付加価値化支援
- ⑤ 漁協・漁家経営等の安定
 - ・ 八幡丸運賃補助、燃油セーフティーネット掛金助成、魚箱購入費助成、イルカ被害軽減対策の継続
- ⑥ 漁業施設及び漁場の整備
 - ・ 生産基盤施設の更新補助、整備補助率の現状維持

